

令和5年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要  
(「指定管理者候補者選定」に係る審査)

1 開催日時 令和5年10月12日(木) 14:30～15:00

2 開催場所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室

3 対象施設 青森市幸畑墓苑

4 出席者

(1) 選定評価委員会

委員長 白戸高史(企画部次長)

副委員長 工藤拓実(総務部次長)

委員 松本大吾(青森大学准教授)

委員 西村晴夫(東北税理士会青森支部税理士)

委員 木村久美子(市民部次長兼行政情報センター所長)

委員 中村敦(農林水産部次長)

委員 石村淳(浪岡振興部次長)

(2) 施設所管課(観光課)

課長 沢木正明

主幹 坂本亮

(3) 制度所管課(財政課)

副参事 岩淵寿哉

主幹 宮崎恭次

主査 櫻田博光

主査 滝口貴史

5 案件 指定管理者候補者の選定について

6 審査結果

(1) 指定管理者候補者

・名称 一般財団法人青森市文化観光振興財団

・住所 青森市大字雲谷字梨野木63番地

・代表者 理事長 木村 文人

(2) 指定期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日まで(5年間)

### (3) 選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・「応募団体について」及び「効率性について」を除いた得点（90.15点）が最低基準点（74点）以上を獲得していること。

## 7 主な質疑内容

### 【来館者を増加させるためのPR及びイベントの実施計画又は自主事業】

委員：これまで実施してきた効果のある取組を継続することだったが、新たな取組は何か考えているのか。

応募団体：少しでも多くの方に足を運んでいただくため、資料館で保管している貴重な未公開資料を期間限定で展示することを考えている。

また、計画書に記載はしなかったが、多目的広場を利用し、近隣のリンゴ園や農家の方と連携した直売会や、青森大学と交流を図るための取組についても考えている。

### 【収支予算書】

委員：収支予算書で観覧料収入を市の見込額の1.3倍で計上しているが、このような見込方をした理由をお知らせいただきたい。

応募団体：昨今の人件費や外注費の高騰に対応するためである。

当該施設は、施設の性質上、観覧者や観覧料収入が大幅に伸びることが想定しづらい側面もあり、利用料金の値上げは不可避と考えたものである。

### 【人件費】

委員：当該施設職員の人件費の時給をお知らせいただきたい。

施設所管課：人件費の基準額は時給920円としている。

委員：一昔前であれば時給800円台でも十分高いと思っていたが、今は900円台でも低く見られ、1,000円台を提示しないと求人応募が来ないのが実態であると考えます。